



広報

かつやま

4 No.665
月号



「待ってた春」

雨が多かった春休み。やっと晴れたある日に、成器西小学校のグラウンドで元気に野球をする子どもたち。遠くの山の残雪がきれいです。

CONTENTS 

平成22年度予算特集

学校再編

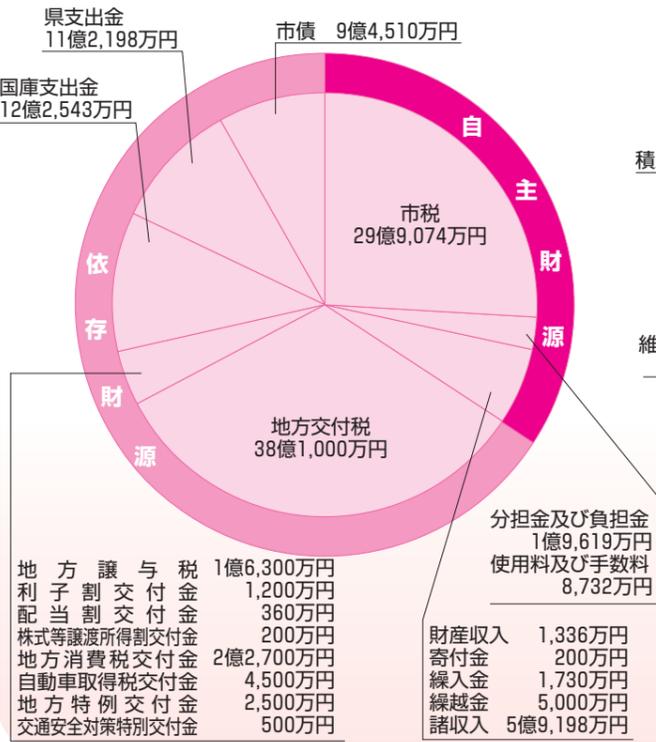
3月定例会市議会

HOT話題

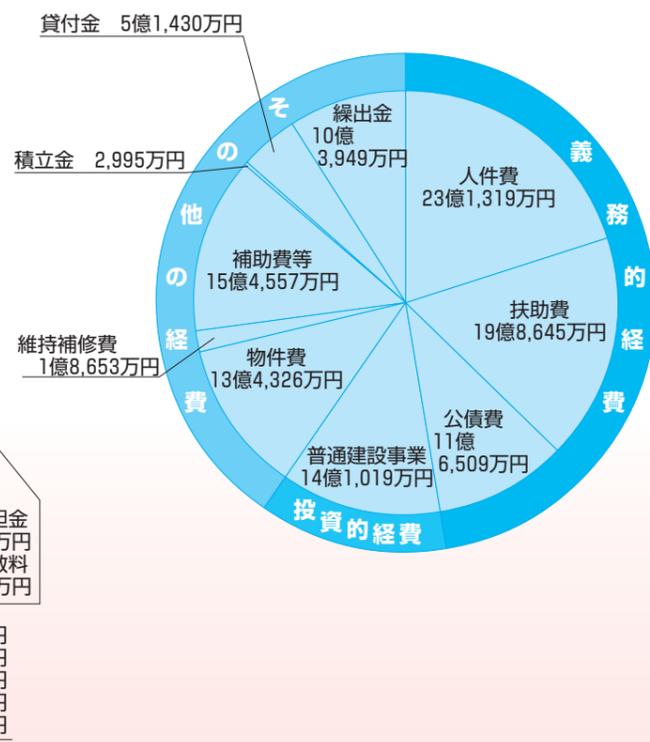
平成22年4月8日発行

一般会計

歳入



歳出



特別会計名	予算額	前年度比
育英資金会計	3,451万円	-2.7%
下水道事業会計	12億2,453万円	-0.6%
農業集落排水事業会計	4億1,417万円	+28.0%
簡易水道事業会計	3億2,686万円	+92.7%
国民健康保険会計	25億2,287万円	-2.4%
老人保健会計	165万円	-90.0%
後期高齢者医療会計	3億2,262万円	+1.0%
介護保険会計保険事業勘定	25億1,068万円	-0.3%
介護保険会計介護サービス事業勘定	1,181万円	+5.6%
市有林造成事業会計	7,693万円	-10.1%

予算総額 **195億7,286万円**
 一般会計 **115億3,400万円**
 特別会計 **74億4,662万円**
 企業会計 **5億9,225万円**

限られた予算を重点配分

歳出は、性質別内訳を見ると、義務的経費のうち、児童・障がい者・高齢者・生活保護関係などの扶助費が、約19億8600万円の前年度比17.7%の増となっていますが、子ども手当支給がスタートすることが主な要因となっています。

投資的経費は、公共施設や道路の建設などで、史跡白山平泉寺旧境内総合整備事業、野向児童館の建設、荒土公民館耐震補強工事、市民要望の強い道路改良などがあり、全体の普通建設事業費は前年度比9.5%増の約14億1000万円となりました。

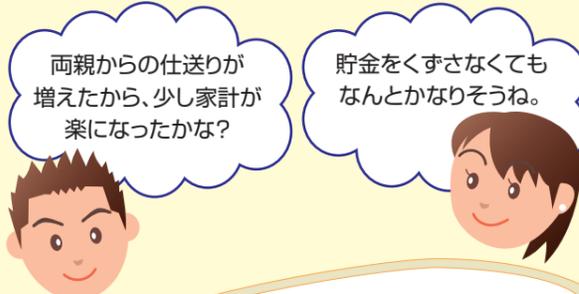
昭和43年度以来となる財政調整基金取り崩しに頼らない当初予算編成が可能となり、平成22年度末の財政調整基金残高は、11億6000万円余を確保できる見込みとなりました。

また平成22年度末の一般会計普通債残高は、前年度末と比較して約4億3900万円減の約5億3000万円となることが見込まれ、財政健全化へ着実に前進していると言えます。

財政調整基金に頼らない予算編成

勝山さんちの家計簿 例えば年収を300万円（月収25万円）とすると……

収入		支出	
平成22年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると	平成22年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると
市税などの自主財源 39億4,889万円	給料・パート収入 25万円	繰出金・補助費・出資金・貸付金等 30億9,936万円	子どもへの仕送り・各種会費など 19万6,200円
地方交付税、国・県支出金等 66億4,001万円	両親からの仕送りなど 42万400円	人件費 23億1,319万円	食費 14万6,400円
市債発行 9億4,510万円	各種ローンの借入 5万9,800円	扶助費 19億8,645万円	医療費 12万5,800円
収入計 115億3,400万円	収入計 73万200円	普通建設事業費・維持補修費 15億9,672万円	車の購入・自宅の増改築・修繕費 10万1,100円
		公債費 11億6,501万円	ローン返済 7万3,800円
		物件費 13億4,326万円	光熱水費・被服費等 8万5,000円
		積立金 2,950万円	新たに預ける貯金 1,900円
		支出計 115億3,400万円	支出計 73万200円



平成22年度 予算特集 **誇りと活力に満ちた ふるさと勝山の実現へ**

総額は前年度比2.7%増の **積極型予算**

本年度の一般会計当初予算は、115億3400万円の前年度比3.6%の増（金額にして3億9800万円の増）、各特別会計と下水道の企業会計を含めた全体の予算規模は約195億7300万円の前年度比2.7%の増（金額にして約5億1500万円の増）となりました。

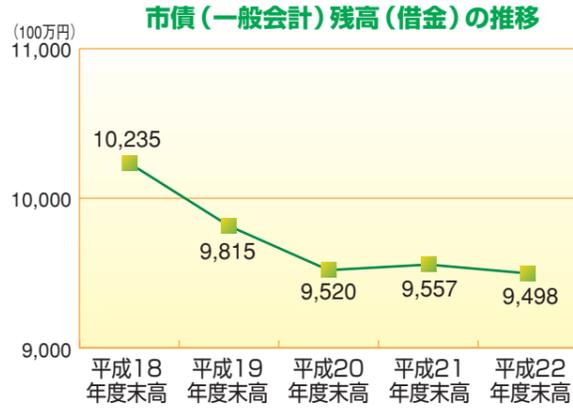
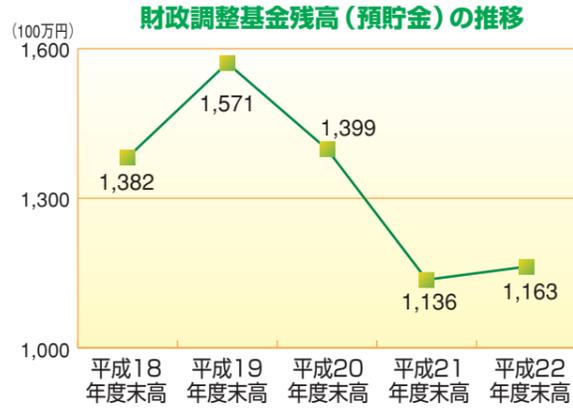
また、中学校修了までの児童を養育している保護者への「子ども手当」の支給がスタートするため、子ども手当給付費として、一般会計に約3億7700万円を計上しています。

市税の減少を、地方交付税、臨時財政対策債がカバー

景気低迷などにより、市税は、個人市民税、法人市民税、固定資産税の落ち込みを見込み、市税全体では、前年度比5.6%減の約29億9000万円を計上しました。

一方、地方交付税では前年度比12.1%増の38億1000万円、臨時財政対策債で前年度比50%増の約5億9200万円を計上しました。

下水道使用料については、使用料の収入減少が続いており、必要な経費をまかなうことができなくなっていることから、平成22年4月分（5月検針分）から平均12.5%引き上げます。



の趣旨普及および地質遺産の保全と活用を図ります。



福井県谷ふくい勝山ジオパーク

「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク」は、ガイダンス施設を建設します。

史跡白山平泉寺の総合整備事業では、ガイダンス施設を建設します。

全国に誇れるまちを目指して

エコ環境都市の実現 子育て支援日本一の実現 まちなか誘客、産業振興

平成22年度は次のようなことに取り組みます。

ま まちなか誘客、歴史と品格が漂う美しいまちなかづくり

子 子育て・教育、福祉の充実

快 適な生活環境、エコ環境都市の実現

- ゆめおーれ勝山開館1周年、県立恐竜博物館開館10周年
- まちなか創業活性化の支援
- 商業地域出店の促進
- 景観整備事業助成制度の拡充



近代化産業遺産「はたや記念館 ゆめおーれ勝山」開館1周年と県立恐竜博物館開館10周年にあわせて、各種記念事業を実施します。

また、「まちなか」の駅ネットワーク勝山」事業への支援を継続し、かつやまをきれいにする運動、弁天堤防花物語事業、四季折々の花いっぱい運動など、市民の力を結集して「もてなし」を演出します。

勝山駅周辺、本町周辺の歴史と品格のある町並み整備を継続します。

商店街の空き地・空き家を活用して新規に出店し、営業する事業主に対し助成することにより、まちなかの賑わいの創出を図ります。

景観整備助成は、伝統的建造物への対象区域を市全域に広がります。

- 保育料軽減県下トップなど、子育て支援日本一を目指す
- 地域子育て支援センターを奥越地域地場産業振興センター内に移設
- 野向児童館の建設
- 全年齢対象のがん検診無料化の継続と受診率向上対策を充実
- 小中学校の支援員の充実



インフルエンザ予防接種費用助成を中学生までに拡大します。

全年齢対象のがん検診無料化事業を継続実施し、がん検診受診率を向上させるため、節目年齢の該当者に無料クーポン券を送付します。

また、第2次健康増進計画に沿って広く健康づくりを推進し、講演会を実施します。

発達障がいなどの児童生徒に対する特別支援教育支援員や少人数学習指導員の各校配置、不登校・学級復帰対策を継続するほか、小中学校の生活支援員を充実させます。

- 公共下水道、農業集落排水の促進
- 住宅用太陽光発電設備導入促進
- 太陽光発電を活用したハイブリッド街路灯やLED街路灯設置
- 児童・生徒に環境教育推進事業を各小中学校で実施
- 平成24年度環境自治体会議全国大会を誘致

公共下水道は、鹿谷町、遅羽町、荒土町、野向町、平泉寺地区などで面的整備を進めます。農業集落排水事業は、伊知地・坂東島地区での工事を継続し、処理施設の機械等設計委託、建設を実施します。

環境対策では、市民と協働してエコ環境都市の実現を目指すため、環境に配慮した街路灯を市内の主な避難所周辺などに設置します。

また、児童・生徒に対する環境教育推進事業を各小中学校で実施します。電車など公共交通機関の利用促進、公用車の低排出ガス車へのシフト、公共施設のISO遵守を推進し「低炭素型社会」の一翼が担えるように努めます。

平成24年度の勝山市での「環境自治体会議全国大会」開催に向け、市民団体とともに視察、実践、研究を行います。

産 業と観光の振興、史跡整備

- ものづくり技術・研究開発支援
- シルバー人材センターを移転・拡充
- かつやま逸品開発・販路開拓
- 鳥獣害防止総合対策
- 循環型農業推進、有機・特別栽培農業支援
- 史跡白山平泉寺旧境内の総合整備
- 「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク」の推進

安 全・安心な人と優しいまちづくり

- 消防緊急通信指令施設の整備
- 住宅用火災警報器の設置推進
- 地震ハザードマップの作成
- 荒土公民館の耐震化整備

老朽化した消防指令台をIP電話、携帯電話からの緊急通報にも対応できる指令台に整備します。

また、平成23年5月末日までに、市内における住宅用火災警報器の全戸設置を実現するため、設置済み宅を表示するシールを作成し、早期設置促進を図ります。

勝山市域に地震が発生した時の建物被害の程度や災害時の行動などの情報を掲載した地震ハザードマップを作成します。

定 住化・市民参画、行政改革など

- 第5次総合計画の基本構想・基本計画を策定
- 良好な住環境の提供
- 北谷地区の地域振興
- 関西学院大学との連携
- 簡易水道の統合本格化



平成22年度末までに第5次総合計画の基本構想・基本計画を策定します。市長とんでも語りう会、地区別座談会、市民向けのまちづくり講演会などを通じ、市民の意見・提案を反映した計画作りを進めます。

良好な住環境を提供するため、木造住宅の耐震化促進や市営住宅の整備などに取り組みます。

北谷地区の地域振興を図り、過疎集落振興策の研究に着手します。

インターンシップにより関西学院大学生および大学院生を受け入れ、市内における学習、研究の場を提供します。

平成28年度までに簡易水道の上水道統合整備への具体化に向けて取り組んでいきます。

子ども手当が支給されます

4月から、次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、これまでの「児童手当」に代わり、「子ども手当」が支給されます。

対象児童▶中学校修了までの児童

支給額▶月額1万3,000円

支給月▶6月、10月、2月

所得制限▶なし

申請▶

- ・児童手当を所得制限などで受給できなかったかたは、4月から中学2年生・3年生になるかたは申請が必要です。4月下旬に申請書を送付します
- ・中学1年生までの生徒、児童で、児童手当を受給していたかたは申請が不要です。ただし、6月に現況届の提出が必要となります(後日案内)
- ・新生児については、出生届提出時に申請してください

臨時窓口の設置

4月25日(日)～27日(火)に臨時窓口を設置します。

☎ 福祉・児童課(☎87-0777)

勝山市 政策提案募集

勝山市政に関する政策提案を募集します。いただいた提案は、今後のまちづくりのアイデアとして、第5次勝山市総合計画策定などに活用していきます。

募集期限▶5月7日(金)

募集内容▶3人以上のグループ(各種団体・サークル、友人・知人同士、職域など)で考えた市政に関する政策提案

※市内外は問いません。ただし、宗教および政治団体は除きます

応募方法▶所定の応募用紙に必要事項をご記入のうえ、未来創造課宛に持参もしくは郵送でお送りください。なお、郵送の場合は、封筒に「勝山市政策提案」と明記してください

※応募用紙は、未来創造課にあります。また、勝山市ホームページからダウンロードできます

提案内容の公開▶応募された提案は、その要旨をホームページで公開します

☎・☎ 未来創造課(☎88-1115)

現在



勝山北部中学校

勝山中部中学校

勝山南部中学校



北郷小学校

荒土小学校

鹿谷小学校



成器西小学校

野向小学校

村岡小学校



成器南小学校

三室小学校

平泉寺小学校

小中学校再編にあたり特に留意する事項

1. 再編後の小中学校児童生徒の通学手段の確保を図ります
2. 再編後の新小学校における放課後児童対策の充実を図ります
3. 再編後の遊休施設化する各地区の小中学校施設の活用を図ります

全国クラスの大会が開催できる体育館がないため、市民の新体育館建設への期待が高まっています。

長尾山総合公園第2期事業は諸般の事情から休止中。

再編にあたっての留意事項

小中学校再編後は、通学に支障をきたす児童生徒に対し、通学バスの整備をして対応を図ります。また、新小学校における放課後児童対策の充実とあわせて、各地区における児童の健全育成の充実を図ります。さらに、再編後に遊休施設化する各地区小学校の、地域における活用について検討します。

平成32年度末までに実現

この素案をもとに留意事項を整理し、「市長とんでも語りう会」や「地区別座談会」「中学校区別の座談会」などにおいて、市民の皆様と議論を重ねていきます。そして、平成22年度中に策定する「第5次勝山市総合計画」に位置づけ、その計画期間である平成32年度末までの実現を目指します。

市の方向性(素案)



(仮称)
勝山中学校
現在の成器西小学校の活用を軸に検討します。



(仮称)
北部小学校
現在の勝山北部中学校の活用を軸に検討します。

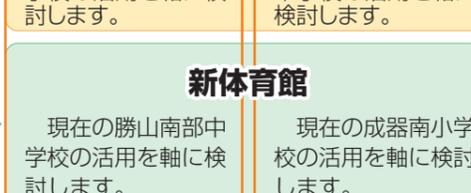


(仮称)
中部小学校
現在の勝山中部中学校の活用を軸に検討します。



A案
(仮称)南部小学校
現在の成器南小学校の活用を軸に検討します。

B案
(仮称)南部小学校
現在の勝山南部中学校の活用を軸に検討します。



新体育館
現在の勝山南部中学校の活用を軸に検討します。

現在の成器南小学校の活用を軸に検討します。

現在休止となっている「健康の森ゾーン」における総合運動公園整備の廃止および新たな展開に着手します。

長尾山総合公園第2期事業

最後に、長尾山総合公園第2期事業の見直しは、地元地権者のご理解をいただき、現在休止となっている「健康の森ゾーン」における総合運動公園整備を廃止し、新たな展開に着手します。

勝山市の重要政策課題…… 小中学校の再編 新体育館の建設 長尾山総合公園第2期事業

未来に向かって望ましい教育環境の整備、市民のスポーツ振興と選手の育成強化、総合公園整備に対する新しい視点での提案、これらを一体的にとらえ、いずれも同時期に整備の方針を定めていきます。

未来の子どもたちのために

今、市内の小中学校では、少子化による児童生徒数の減少によって複式学級が増え、また、希望する部活動が自分の中学校にないため、学区を越えた入学を希望する例があります。市内の公立中学校の生徒数は、平成21年の730人が平成27年には601人へ、同じく公立小学校の児童数は、1270人が1103人へ減少する見込みです。

将来にわたって子どもたちが人間教育、勉強、部活動などに充実した学校生活を送るためには、小中学校の再編は必ず着手しなければならぬ重要な施策です。

市では、これまでに市長とんでも語りう会やその他の座談会などで、市民のみならず話し合いを重ねてきました。

その中で多く寄せられた「市としての方向性を示すべきだ」との要請にお答えするため、小中学校の再編、新体育館の建設、長尾山総合公園の新たな展開とを一体的にとらえて、未来を見据えた勝山市としての素案を提示します。

小中学校の再編

中学校再編については、北部、中部、南部の3中学校を1つの中学校に再編します。再編後の中学校の位置は、かつての勝山中学校の跡地である、現在の成器西小学校の活用を軸に検討していきます。

次に、小学校再編については、9校ある公立小学校を、現在の中学校区に合わせて3つの小学校に再編します。北部エリアは、北郷、荒土、鹿谷の3小学校を再編して、(仮称)北部小学校を置き、再編後の学校の位置

は、現在の勝山北部中学校の活用を軸に検討していきます。

中部エリアは、成器西、野向、村岡の3小学校を再編して、(仮称)中部小学校を置き、再編後の学校の位置は、現在の勝山中部中学校の活用を軸に検討していきます。

南部エリアは、成器南、三室、平泉寺の3小学校を再編し、(仮称)南部小学校を置き、再編後の学校の位置は、新体育館の建設予定地と併せて検討するものとし、現段階ではA案、B案の2案を検討しています。

新体育館の建設

A案は、現在の成器南小学校を、(仮称)南部小学校とし、現在の勝山南部中学校に新体育館の建設を検討するものです。

B案は、A案とは逆に、現在の勝山南部中学校を(仮称)南部小学校とし、現在の成器南小学校に新体育館の建設を検討するものです。

いずれにしても、平成30年開催の国民体育大会に向けて、既存の体育館の活用とともに、全国クラスの大会開催が可能な新体育館を建設します。

勝山市行財政改革実施計画 進行管理状況の結果(平成20年度実績)

管理項目である「I.年次目標または数値目標を設定して管理する項目(17項目)」について、平成20年度実績を次のとおり公表します。

1. 事務事業の見直し

実施項目【目標数値項目】	実績	目標年次および数値目標				
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
下水道事業での水洗化率の向上(82.9%)	83.1%	83.5%	84.0%	84.3%	84.7%	83.5%
農集排事業での水洗化率の向上(50.0%)	62.9%	60.0%	65.0%	70.0%	75.0%	80.0%
東山いこいの森指定管理者導入 ()内は平成18年度末現在の値	H21年度導入済		○			

2. 行政と市民との協働システムの構築

校長会、教頭会補助金削減(18万5千円) ()内は平成18年度末現在の値	-8.6%		-30.0%			
--	-------	--	--------	--	--	--

※数値目標は平成18年度比の削減率

3. 組織・機構の見直しおよび給与と定員管理の適正化

職員の削減(356人)	-35人	-29人	-31人	-37人	-42人	-45人
人件費の削減(2,713百万円) ()内は平成15年度当初の値	-404	-305	-321	-356	-386	-407

※数値目標は、平成15年度当初比の削減数

4. 公正の確保と透明性の向上

市税の徴収率向上(96.8%)	97.0%	96.9%	97.0%	97.1%	97.2%	97.3%
市税(過年度分)の収納率向上(14.7%)	14.5%	14.9%	15.0%	15.1%	15.2%	15.3%
介護保険料の徴収率向上(99.13%)	99.28%	99.20%	99.25%	99.30%	99.35%	99.40%
介護保険料の滞納額削減(330万円)	278万円	303万円	284万円	265万円	246万円	227万円
水道料金の徴収率向上(99.0%)	99.1%	99.1%	99.2%	99.3%	99.4%	99.5%
水道料金の滞納額削減(399万円)	431万円	379万円	360万円	342万円	330万円	308万円
下水道使用料の徴収率向上(98.9%)	99.1%	99.1%	99.2%	99.3%	99.4%	99.5%
下水道使用料の滞納額削減(954万円)	850万円	926万円	898万円	871万円	845万円	820万円
育英資金貸付金滞納額回収(543万円)	320万円	473万円	403万円	333万円	263万円	193万円
前納報奨金の廃止	廃止			廃止		
入札時の総合評価落札方式の導入 ()内は平成18年度末現在の値	実施	導入				

勝山市介護保険 運営協議会委員

募集

内容▶市の介護保険施策に関する審議(年2回程度)
・勝山市地域包括支援センター運営協議会委員と勝山市地域密着型サービス運営委員会を兼務します(それぞれ年2回程度の会議開催)
募集人員▶4人(平成22年4月1日現在で40歳以上65歳未満のかた2人、65歳以上のかた2人。性別不問)
任期▶6月1日(火)~平成23年5月31日(木)
募集締切▶4月30日(金)
※申し込みの際は、住所、氏名、性別、生年月日を明記したものと、応募の動機を簡単に書いたもの(400字詰め原稿用紙1枚まで)をご持参ください
☎健康長寿課(☎87-0888)

企業誘致 プロジェクトマネージャー

募集

内容▶福井県や勝山市にゆかりや関わりのある企業へ誘致活動を展開して、勝山へ企業進出を果たします
募集人員▶1人(上場企業や県外企業を熟知している概ね65歳までのかた)
雇用期間▶採用日から1年ごとに雇用(委嘱)の更新
所属場所▶勝山市役所 商工観光部商工振興課
賃金▶時給1,800円(1週あたり16時間勤務)
募集締切▶4月23日(金)
提出書類▶履歴書、企業誘致プロジェクトマネージャーとして提言すること(400字詰め原稿用紙1枚まで)
☎商工振興課(☎88-8105)

3月定例会 市議会

平成22年度 一般会計当初予算などを可決

3月定例会市議会が3月2日から24日までの日程で開かれました。
山岸市長は、招集あいさつで「小中学校再編、体育館整備、長尾山総合公園第2期事業についての3点の課題は、一体的かつ同時期に整備の方針を決定したい。」と、勝山市の最重要課題について取り組む決意を述べました。

決まった内容

○予算

平成22年度における一般会計および10件の特別会計予算が可決されました(2~5ページの予算概要参照)

○条例

・市条例の一部改正(国民健康保険税の税率を改定するとともに軽減措置を継続します)
・児童センターの設置及び管理に関する条例の一部改正(成器西、村岡小学校内に児童教室を開設します)
・火災予防条例の一部改正(個室店舗などの防火安全対策の強化を図ります)
・下水道条例の一部改正(公共下水道使用料を変更します)
・農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正(農業集

○その他

・損害賠償の額を定めることについて
・3陳情が採択、2陳情が趣旨採択、2陳情が継続審査、2意見書が可決となりました

○委員の選任

・勝山市教育委員会委員の任命について同意されました



梅田 幸重氏
(福井市文京6)

新しい技術・商品開発に意欲的な企業を支援 ものづくり技術・研究開発支援事業

・ものづくりが新規性に富み、新技術を駆使した研究開発や新製品開発の試作に対して、補助をします。
・県内外で開催される展示会などに出展し、自社の技術や製品の販路開拓の研究に対して、補助をします。
対象者▶市内に住所を有する中小企業等の事業者、団体
事前説明会

と き▶4月20日(火)午後7時~
ところ▶教育会館3階 第1研修室

まちなかの空地・空家を使った新規出店者を支援 勝山市商業地域等出店促進事業

商業地域等の空地や空き家を活用して、新規に出店し営業しようとする事業者に対し、補助をします。
対象者▶補助対象区域内の空地または空家を活用して新規に出店する小売業、一般飲食店などを新たに営もうとする者

補助率▶

(1) 店舗改修等工事費の1/2(限度額100万円)
(2) 土地、建物の賃借料の1/2(限度額月額5万円)
対象期間▶店舗開設の日が属する月の翌月から36か月
その他▶申請にあたっては、勝山商工会議所の推薦を得ることが必要

☎商工振興課(☎88-8105)

下水道および農集排の使用料改定 4月使用分から12.5%の値上げ

勝山市上下水道料金制度協議会の答申を受け、下水道および農集排使用料を平成22年4月使用分から平均12.5%値上げします。料金は下記のとおりです。

なお、水道料金は平成23年4月使用分から値上げになります。

下水道等使用料表(1か月につき) (税込)

区分	排水量	現行の使用料	改定後の使用料	
一般排水	基本料金	10㎡以下	1,165.50円	1,291.50円
		11~30㎡	116.55円	136.50円
	従量料金(1㎡につき)	31~50㎡	139.65円	157.50円
		51~100㎡	151.20円	178.50円
公園排水	基本料金	10㎡以下	1,165.50円	1,291.50円
		従量料金(1㎡につき)	11㎡~	58.80円

主な使用量に対する使用料一覧表 (税込)

使用量	現行の使用料	改定後の使用料	増加額
~10㎡	1,165円	1,291円	126円
20㎡	2,331円	2,656円	325円
25㎡	2,913円	3,339円	426円
35㎡	4,194円	4,809円	615円
50㎡	6,289円	7,171円	882円
75㎡	10,069円	11,634円	1,565円
100㎡	13,849円	16,096円	2,247円

☎上下水道課(☎88-8109)

卓 福井県青年技能者が市長を訪問 越した技術を後輩に

福井県青年技能者として勝山市が推薦し、表彰された石原光宏さん（22 = 鹿谷町志田=）が、3月17日に山岸市長へ受賞の報告に来庁しました。



市長に受賞の報告をした石原さん

石原さんは、100分の2ミリの精度が求められる高度な旋盤技術が認められ、平成20年技能五輪全国大会にも福井県代表として出場しました。

「今後は指導員として、技能五輪でメダルを取れるような後輩を育成したい。」と、抱負を述べました。

高 IT文化フェスティバル 校生がホームページを競う

ふくい県民総合文化祭「IT文化フェスティバル」が勝山IT研究会の主催で、3月13日に奥越地域地場産業振興センターで開催されました。高校生によるホームページコンテストでは、福井県知事賞に勝山高校の長谷川まいさん（1年）、市川千咲葵さん（1年）の作品が選ばれました。

また、記念講演では気象キャスターの小越久美さんが、雲のできる仕組みの実験などを行いました。



知事賞を受賞した市川さん（左）と長谷川さん（右）



ため池百選に選ばれた赤尾大堤

赤 地域活性化の核として保存・活用を 尾大堤がため池百選に選定

農林水産省は、農業の礎として歴史や伝統があり、地域で親しまれている農業用ため池の「百選」に、平泉寺町赤尾にある「赤尾大堤」を選定しました。

赤尾大堤は、貯水量2.8万m³のため池で、区誌には1800年頃に築造を行ったと記されています。里山に囲まれた水田とともに、生物にとって良好な水辺環境を形成しており、水生昆虫も多く生息しています。



息の合ったダンスと歌を披露する団員の皆さん

迫 劇団ドラゴン・ファミリー公演 迫真の演技で観客を魅了

ミュージカル劇団ドラゴン・ファミリーの講演「この川のほとりで」が、3月26日に市民会館ホールで行われました。ストーリーは、九頭竜川を舞台に、進路に悩む女子学生が人のつながりや、故郷の自然の素晴らしさに気付いていくというもの。

団員たちは13曲の歌とダンスで、迫真の演技を繰り広げました。



出土した水晶と砥石の破片



平 水晶と砥石の破片が出土 泉寺の坊院で数珠を製作

平成21年度白山平泉寺旧境内発掘調査の成果として、数珠を製作していたことが伺える、砥石の一部と水晶片約50点が一緒に出土しました。砥石と水晶と一緒に発見されるのは全国でも極めて珍しく、坊院（お坊さんの屋敷）で数珠が作られていたことを示す貴重な史料といえます。

出土した水晶片は、ほとんどが数珠に加工する際に出たくずや荒削りしただけのもので、砥石の表面には、水晶を磨いた際にできた溝が複数あります。

これまで、平泉寺境内の周辺には門前市がいくつかあり、そこで生活用品などの必需品を購入し、坊院で消費していたと考えられていました。しかし、坊院内で数珠を製作していたことが明らかになり、坊院内にも生産の場があった可能性が高くなったのです。誰が何の目的で数珠を作っていたのか。平泉寺の僧侶の暮らしの謎は、深まるばかりです。

勝 ゆめおーれ、勝山城博物館、越前大仏 山市内観光施設共通観覧券発売

4月1日から、市内の観光施設3館に割安の料金で入館できる「勝山市内観光施設共通観覧券」を販売しています。対象施設および観覧券販売所は、はたや記念館ゆめおーれ勝山、勝山城博物館、越前大仏です。

勝山市内の観光地を周遊されるかたには、大変お得な観覧券です。

勝山市内観光施設共通観覧券									
	有効期間は、発券日から30日間でこの間に3館をご覧くださいいただけます。								
	料金は、								
	一般 1,200円 → 900円								
	大学生 1,150円 → 850円								
	高校生 650円 → 450円								
	小・中学生 600円 → 400円								
	問い合わせは、はたや記念館 ゆめおーれ勝山 ☎87-1200 まで。								
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>900円</td> </tr> <tr> <td>大学生</td> <td>850円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>450円</td> </tr> <tr> <td>小・中学生</td> <td>400円</td> </tr> </tbody> </table>	一般	900円	大学生	850円	高校生	450円	小・中学生	400円
一般	900円								
大学生	850円								
高校生	450円								
小・中学生	400円								



羽生会長（右）から説明を受ける山岸市長

総 市の政策の成果を評価 合行政審議会答申

平成20年度に勝山市が取り組んだ政策の成果を評価する「平成20年度政策基本目標管理外部評価」について、3月15日、勝山市総合行政審議会（羽生英昭会長）から山岸市長に答申がありました。評価内容については、「全体として厳しい評価とした。」と、各事業の評価内容について説明がありました。

答申に対して山岸市長は、「これら評価内容をしっかりと踏まえ、今後の政策推進に努めたい。」と答えました。



■3月14日 教育会館
**第1回が開催される
 かつやまふるさと検定**

今回の検定初級編には市内外から約250人が受験し、1時間半で4択方式100問に挑戦。合格者は237人でした。



■3月20日 教育会館
**白山周辺の文化を学ぶ
 世界遺産講演会**

勝山市世界遺産講演会2010で、石川県立歴史博物館の脇田晴子館長が講師として招かれ、白山平泉寺の研究に期待感を表しました。



■3月21日 成器西小学校
**みんなでジャンプ！
 チャレンジなわとび大会**

チャレンジなわとび大会に保育園児から一般まで85人が参加し、6種目に挑戦。さわやかな汗をかきました。



■3月25日 教育会館
**新1年生に
 防犯ブザーを寄贈**

福井エフエム放送株式会社の船木社長（左）が教育委員会を訪れ、平成22年度小学校の新1年生206人分の防犯ブザーを寄贈していただきました。



新規スタッフの皆さん(左から黒田さん、松山さん、保月さん)

**勝産業観光キャンペーンスタッフ
 山の魅力をPRします**

勝山市の魅力を県内外に広くPRする「勝山市産業観光キャンペーンスタッフ」に、新しく黒田来未子さん、松山美希さん、保月由美さんの3人が選ばれ、(社)勝山観光協会の松井拓夫会長から委嘱状が手渡されました。

3人は「左義長まつりや恐竜をはじめ、新しくできたゆめおれ勝山や今年10周年を迎える恐竜博物館をPRしていきたい。」と抱負を語りました。

これから2年間にわたり、各種イベントに出かけ、勝山の魅力を広く伝えていきます。



養老副会長（右）から説明を受ける山岸市長

**奥越地域総合機能研究会
 奥越の地域医療のあり方を報告**

奥越の地域医療のあり方について研究を行ってきた奥越地域総合医療機能研究会が、半年間の議論や研究をまとめ、山岸市長に報告書を手渡しました。

報告書では、福井社会保険病院の診療体制の充実や在宅医療体制の推進など5項目について要望しています。山岸市長はこれらの要望に対し「行政、市民と一体になって実践していきたい。」と応えました。



▲村岡児童教室(むろこザウルス)開所式の様子



▲余裕教室を改装して遊び場に(にしザウルス)

**元五輪金メダリスト荻原兄弟来勝
 ルディックで健康づくり**

3月27日、元五輪金メダリストで国会議員の荻原健治さんと、同じく元五輪選手でスポーツキャスターの荻原次晴さん兄弟が、せいきコミュニティスポーツクラブ設立1周年記念事業で来勝し、ノルディックウォーキングの指導や、トークショーで市民とふれあいました。



ノルディックウォーキングの指導をする荻原健治さん(手前右)と次晴さん(手前左)



各団体からまちづくりの成果が報告されました

**わがまちげんき発展事業
 まちづくり活動の成果を発表**

3月28日、福祉健康センター「すこやか」で、わがまちげんき発展事業の報告会が行われました。

平成21年度に公開審査を経て活動助成を行ったのは、協働提案の部1件、一般の部17件。各団体による活動の成果と課題が発表されると、参加者から質問が出るなど、活発に情報交換をして連携を深めていました。

保金 就職・退職・進学したら 国民健康保険と国民年金の手続きを

就職や、退職、進学などをしたかたは、健康保険と年金の資格にご注意ください。次の事項に該当する場合は、市民課での届け出が必要です。

市民課 ☎88・8100
市民課 ☎88・8100
市民課 ☎88・8100
市民課 ☎88・8100

国民健康保険

○就職した場合

職場の健康保険に加入したら、国民健康保険の喪失手続きが必要です。手続きに必要なもの▼新しい職場の被保険者証、国民健康保険被保険者証、印鑑

○退職した場合

職場の健康保険の資格がなくなるので、次のいずれかに加入となります。
① 職場の健康保険の「任意継続」
② 配偶者などの健康保険
③ 国民健康保険
(保険料は、③より①に加入したほうが安い場合があります。)

手続き場所

- ① 職場の健康保険の「任意継続」
↓ 加入していた健康保険の事務局
- ② 配偶者などの職場の健康保険
↓ 配偶者などの職場
- ③ 国民健康保険
↓ 市役所市民課

国民年金の手続きに必要なもの▼退職した(健康保険資格を喪失した)ことを証明する書類、印鑑、年金証書(60歳から64歳の年金受給者で、その加入期間が20年以上もしくは40歳以降10年以上あるかた)

○進学したかた

就学するため他市町村へ住民票を移したかたは、遠隔地被保険者証を交付します。
手続きに必要なもの▼平成22年4月

忘れずに納めよう 国民健康保険税

平成22年4月から国民健康保険税の税率を改定しました。世帯の所得が少ない場合には、7割、5割、2割の軽減措置が適用されます。
7割軽減▶世帯主とその世帯の被保険者の所得が33万円以下の世帯
5割軽減▶世帯主とその世帯の被保険者の所得が(33万円+24万5,000円×世帯主を除く被保険者数)以下の世帯
2割軽減▶世帯主とその世帯の被保険者の所得が(33万円+33万円×被保険者数)以下の世帯

平成22年4月から、非自発的失業者に対する保険税の軽減措置が設けられました。
対象者▶雇用保険の特定受給資格者(例 倒産・解雇などによる離職)、雇用保険の特定理由離職者(例 雇い止めなどによる離職)
軽減額▶保険税は下表のように前年度の所得をもとに算定されますが、その所得額を100分の30とみなして算定します。
軽減期間▶離職の翌日から翌年度末までの期間

	医療介護分	介護保険分(40~60歳)	後期高齢者支援金分
所得割額	課税標準額※1×4.6%	課税標準額※1×1.3%	課税標準額※1×1.4%
資産割額	課税標準額※2×23.0%	課税標準額※2×5.0%	課税標準額※2×5.8%
均等割額	被保険者1人あたり20,000円	被保険者1人あたり6,500円	被保険者1人あたり7,000円
平等割額	1世帯あたり19,000円	1世帯あたり5,000円	1世帯あたり6,000円
限度額	50万円	10万円	13万円

※1 平成21年中の総所得など-33万円
※2 平成22年度固定資産税額(都市計画税を除く)

降の在学証明書など、国民健康保険被保険者証、印鑑
※就学を終えたかたは、遠隔地被保険者証を返却し、住民登録してある市町村で国民健康保険に加入してください

国民年金

国民年金保険料額を改定 月額1万5,100円(定額)
平成23年3月までの国民年金保険料は、月440円引き上げられ、年額18万1,200円となります。

国民年金保険料の納付は前納がお得
保険料を一定期間まとめて前払いすると、保険料が割引されます。

	半年分前納	1年前分前納
保険料	89,860円	177,980円
割引額	740円	3,220円

エコ協進信

「エコ」協進信 「エコ」協進信

はじめまして、エコミュージアム協進信、略して「エコ協」です。今月から、市民の皆様がエコミュージアムに関する取り組みなどを紹介いたします。

エコミュージアムのはじまり

平成12年に開催された恐竜エキスポふくい2000の大成功のち、エキスポの成果を今後のまちづくりにどのように活かしていくかが課題として残りました。

また、国史跡白山平泉寺や福井県立恐竜博物館など、集客力のある施設の活用が問われることとなりました。一方、勝山に古くからあった伝統や文化が次々に失われていくことを憂う声がありました。

これらを受け、市の復興と未来への進化を目指すために取り入れたまちづくりの手法がエコミュージアムです。

勝山市のエコミュージアム

勝山市がエコミュージアムによって目指すのが、「ふるさとルネッサンス」です。勝山市独自の自然や風土、伝統や歴史、特有の文化と「コミュニティ」によって成り立っている地域の力を再発見することによって、勝山市の魅力ある個性と特性とを自信を持って表現するこ

とが、地域の誇りにもつながります。私たちが地域に誇りを持つことによって、地域の伝統・文化の継承・保存や地域環境の保全、さらには地域住民の自主性が喚起されます。

エコミュージアムで生まれたもの

地域の特産品を商品化に成功した例として、野向町のえごま、北谷町の鯖の熟れ鮓し、荒土町の炭などがあります。

また、各地域では歴史遺産の整備や保存に尽力いただいていますし、左義長ばやし保存会や谷はやし込み保存会など、郷土芸能の次世代への継承や保存に取り組み活動も生まれました。

まちづくり活動

「エコ協」は、地域まちづくり団体や市民団体の皆様と協働して、まちを元気にしていくための組織です。

地域の行事や学校行事に参加することも、まちづくり活動の第一につながります。次号では、エコ協各団体が行っている活動や、地域の主な行事などを紹介していく予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

未来創造課 ☎88・11115



図書新着情報

子ども図書

一般図書



集めて調べる川原の石ころ
川原の石ころ
渡辺 一夫 著
誠文堂新光社



虫の目で狙う 奇跡の一枚
栗林 慧 著
金の星社



さくらの下の さくらのクラス
宮川 ひろ 著
岩崎書店



四角いクラゲの子
今江 祥智 文
文研出版



かえんたいこ
川端 誠 作
クレヨンハウス



花粉症のワケをつくる!
石井 保之 著
岩波書店



エコカーの技術と未来
石川 憲二 著
オーム社



パターンから裁断までの基礎の基礎
水野 佳子 著
文化学園文化出版局



ダウンタウン
小路 幸也 著
河出書房新社



南の子供が夜いくところ
恒川 光太郎 著
角川書店

歴史の散歩道

(114)

元上後町の薬師堂について

「元禄頃勝山城下町絵図」（成器西小学校蔵）には、勝山三町（袋田町・郡町・後町）が描かれている。後町には寺町が形成され、その上の方には法栄寺・照源寺・浄願寺（後に芳野町に移転）・明王院などが見られる。

明王院は、薬師別当東光山延寿寺明王院の事で、「平泉寺史要」によれば平泉寺の末寺である。勝山町にあった末寺は、他にも神宮寺・光明院・徳正寺があった。別当というのは、日本古来の神と仏教信仰が融合する「神仏習合説」にもとづいて、神社に設けられた神宮寺（神社に付属して置かれた寺）のことである。

薬師別当明王院は、勝山町立ち始めの頃（天正年間）、町の鎮守として上後町に設けられ、その後、末社の稻荷社も建てられた。この薬師堂には平泉寺境内の薬師殿の本尊といわれる薬師如来（毘首羯磨作）を安置していた。天保十二年（一八四一）当時、



西環状線脇に建つ薬師堂と薬師

如来像(左手に薬壺を持ち、右手は施無畏印を結ぶ。身の丈約17cm)、十二神将を率いる。



元禄頃の勝山城下絵図部分（成器西小学校蔵）

境内は二百歩、灯明科六反二畝二六歩、薬師堂一間四面、拜殿四尺長さ三間、稻荷社五尺四方、土蔵一間半×四間、氏子百軒余と記され、厚い信仰を集めていた。ところが、明治四年（一八七二）に神仏分離令によって、これらの別当寺院では仏像はじめ仏教色を取り除き、神社として存立を図った。勝山後町では、薬師堂を後町の氏神にしようとして願い出たが認められず、やむなく薬師如来は佐々木末吉氏がお堂を設けて祀ることで存続を図った。なお、稻荷社は神明神社に合祀している。また、明王院は宝暦年中（一七五一〜六三）に焼失し、再建されていないままになっていた。

現在の薬師堂は、勝山西環状線を勝山中央郵便局信号を過ぎて大野側へ進むと、すぐ左側にこじんまりした薬師堂が見られる。今は佐々木秀一氏が守られ、毎年六月八日には「お薬師さん祭」が行われている。

文化財保護委員 増田公輔

人口の動き

	2月末現在	自然動態		社会動態		3月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	12,691人	8	16	46	61	12,668人	-23人
女	13,847人	12	13	34	54	13,826人	-21人
合計	26,538人	20	29	80	115	26,494人	-44人
世帯数	8,282世帯					8,286世帯	4世帯

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成22年3月末	前年比
総件数	133件	-1
人身事故 (うち高齢者)	17件 (10)	±0 (+2)
死者 (うち高齢者)	1人 (1)	+1 (+1)
傷者	17人	-2
物損事故	116件	-1

4月の納税

固定資産税▶1期
納期限▶4月30日(金)
口座振替▶4月26日(月)

編集後記

4月になってもなかなか晴れ間がのぞかず、春らしくない天候が続いています。

そんな春休みの貴重な晴れ間に、成器西小学校のグラウンドで元気に野球をしていた子どもたちを表紙にしてみました。遠くの残雪がともきれいでした。

平成22年度は、中学校再編や第5次総合計画策定など、勝山市にとって大きな課題があり、新たなスタートの年度となります。市民のみならず協賛しながら市職員一丸となって取り組んでいきます。

広告

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで